

職能短大・小笠原教授

国交大臣表彰を受賞

大館、都市計画を推進

都市計画の推進に功績があったとして、大館市の秋田職業能力開発短期大学校の小笠原吉張教授(56)が建築計画、同市字観音堂Ⅱが国土交通大臣表彰を受賞した。25日、市役所を訪れ、福原淳嗣市長に

報告した。

表彰は、都市計画法・建築基準法制定100周年記念事業の一環。19日に都内で開かれた記念式典で、石井啓一国交相が都市計画法関係として全国の116人、22団体、建築基準法関係として141人、14団体に感謝状を贈った。小笠原教授は2011年から大館市の都市計画審議会議長を務めているほか、都市計画関係の各種委員を歴任してい

る。報告で小笠原教授は「生まれ育った地でまちづくりのお手伝いをしてきた。とてもうれしい」と話した。福原市長は「おめでたいと思います。これからも一緒に仕事をしましょう」と述べた。

本県関係では小笠原教授を含む6人が表彰された。

(千葉勉)

ほかの受賞者は次の通り。(敬称略)

受賞を報告する小笠原教授



- ▽折田仁典(秋田高専名誉教授、秋田市)▽山口邦雄(県立大教授、由利本荘市)▽土田久美子(元県職員、秋田市)▽小林淳(元県建築審査会長、由利本荘市)▽松本真一(県建築審査会長、由利本荘市)